

世界遺産を目指す 尾道を専門家視察

ユニタール研修後

「世界遺産の管理と保



浄土寺の境内で、小林副住職(左)から説明を受けるユニタールの研修参加者

全」をテーマにした国連訓練調査研究所（ユニタール）広島事務所の研修に参加した豪州など四カ国の講師と研修生四人が

十二日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産登録を目指す寺のまち・尾道を視察した。

（27面関連）

浄土寺山山頂から瀬戸内海の多島美を堪能。尾道を代表する古刹浄土寺では、小林暢善副住職(左)から国宝の多宝塔などの説明を受けた。国重文の天寧寺海雲塔も見学した。国際記念物遺跡会議（イコモス）遺産コンサルタントのダンカン・マーシャルさん(右)は「海と山に囲

まれ、造船所が立ち並び。そんな町並みの中に古寺が点在し、独特の趣がある」と話していた。